

鳥取県経済同友会東部地区 2 月例会報告

- 1 日 時 令和 7 年 2 月 2 5 日 (火) 1 8 : 3 0 ~
- 2 場 所 ホテルニューオータニ鳥取「鳳凰の間」
- 3 講 演 「二拠点生活と明日への懸け橋」
講師 一棟貸しゲストハウス「明日の家」
オーナー 村尾朋子 氏

4 出席者 2 1 名

5 講演要旨

鳥取市で生まれ、7歳で東京に引っ越し、美容学校を卒業したがアパレルに興味をわきアパレル販売を始めた。2005年にレディースアパレルネットショップ村尾 CO. を立ち上げ事業も順調であったが、一旦WEBを学ぶために退職し、大手企業へ入社。その後、2008年にWeb制作の「明日の株式会社」を姉妹で設立した。



【講演する村尾朋子氏】

鳥取県智頭町で暮らしていた父ががんになり、父の世話をするため2018年に智頭町に移住した。

会社のある横浜は、いろんな情報がある半面、野菜等の季節感がない、時間との闘いなどの面があり、本当に大切なものは何だろうと考えるようになった。父が亡くなったのち、会社のある横浜と自然豊かな智頭町の二拠点生活を決意し2020年に古民家をリフォームした一棟貸しゲストハウスの「明日の家」をオープンした。当初は横浜と智頭を行き来して一棟貸し事業を行っていることに集落の人から信用されなかった。現在は理解されて、仲良くなり協力もいただいている。

明日のお米プロジェクトでは、高齢化により休耕田が増える中、地域の人の、IT会社の社長、鳥取大学の先生や学生が知恵と力を合わせて、無農薬でお米作りをしている。

また、横浜で鳥取、智頭町を紹介するイベントの開催、横浜市立大学学生たちが、毎年智頭町を訪れ、町の課題からプロジェクトを創る取り組みなどを中心になって行っている。

その他、旧宿場町である智頭宿、岡山県大原宿、兵庫県平福宿の三宿をつなぐ取り組みを三宿の女性メンバーでスタートした。さらに、智頭町の女性経営者4人で立ち上げたやどり木協議会は、それぞれが持つ技術で智頭町の自然や文化などの地域資源を活かして持続可能なまちづくりに取り組んでいる。

講演が終わった後今後の展望について質問があり、空き家がたくさんあるので空き家を活用し、手仕事を学べる場づくり、ホテルに改修するなど取り組んでいきたいこと、また、鳥取の魅力についての質問には、鳥取に移住するまでは、鳥取にあまり魅力を感じていなかったが、住んでみて人が優しい、景色が良いなど多くの魅力があると感じたと話された。